

平成21年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472602984	事業の開始年月日	平成17年10月1日	
		指定年月日		
法人名	株式会社 ライフヘルプサービス			
事業所名	グループホームゆらり相模原			
所在地	(229-1135) 神奈川県相模原市大島3246			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18 名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成22年1月22日	評価結果 市町村受理日	平成22年5月19日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1472602984&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々身体を動かし脚腰を鍛え(散歩)、また音楽的療法(体操)を実施習慣にして行くことで身体機能を維持し、日々新聞読み聞かせを行い社会情勢を伝え脳の活性化を目指している。寄り添う介護と安心して共に生活ができ、働きがいのある職場作りを目指しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ケ'双ファースト 3階		
訪問調査日	平成22年2月10日	評価機関 評価決定日	平成22年4月9日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

○地域との交流
当事業所では散歩など積極的に行い、地域住民との交流を深めています。散歩の途中で地域住民の家に立寄ったり、地域の人による津軽三味線や幼い姉妹によるフラダンスや子どもと利用者の交流なども行われています。

○利用者参加による献立作り
献立は職員と利用者が協力して作っています。栄養については、製薬会社発行のレシピなど記載のある雑誌を取り寄せ検討しています。献立を協力して作ることでより利用者の積極的な調理への参加、あるいは食材の買出しなど利用者の生きがいにも通じています。

○脳の活性化
新聞の読み聞かせを行うことや毎月、利用者各自が自分のための月めくりのカレンダー作りを行っています。新聞の読み聞かせでは世の中の動きや話題を職員、利用者が共有し、カレンダー作りでは数字を取り扱うことにより脳の活性化に役立っています。

○一目でわかる利用者の生活の様子
毎月、ゆらり通信とすることで「悠花里」と言う多くの写真をふんだんに使用した便りを送っています。同時に利用者一人ひとりの様子も報告しています。また、今は中断していますが、返信用の封筒を送り、家族の希望や質問などを書いてもらうなどの工夫も行われていました。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームゆらり相模原
ユニット名	1階

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>「一人ひとり」を大切に笑顔と真心で地域の一員となり笑顔で交流することを事業所独自の理念を共有しています。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会に加入し自治会行事の連絡がある時は参加しているホームの行事の際はボランティアの人をお願いしたり、又外出（散歩）際は自宅の庭を休憩の為に提供してくれ良好な関係を保っています。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>施設行事に参加して頂ける様声かけしています。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域推進運営会議と言う名称で3ヶ月1回開催、地域自治会長、民生委員、地域包括相談員、利用者とその家族の参加を得てホームの状況、活動報告を行い意見の交換を行っています。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>介護保険課、生活支援力と随時行き来し利用者の状況報告や相談を状況に応じて行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠は一切していません。フロア毎に出入り口、玄関、チャイムを完備し自由に出入りできる様にしております。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等に参加しています。資料をもとにユニット会議話合いの場を設けています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じ関係者と電話、封書等で連絡しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、契約書、重要事項、運営規定を全て読み上げ説明しています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入口付近に投書箱を設けています。1か月に1度中を確認していますが今までにご意見は頂いてはおりません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月事業所の運営会議・ユニット会議を開催し、代表者・管理者が出席し職員からの意見を直接聞く機会を設けています。必要に応じて法人の運営会議に議案として吸い上げ検討しています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	「働きやすい職場づくり」を今年度のテーマとして掲げ、慶弔金の整備や資格取得支援などの取り組みを行っています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	他施設への研修・交流会を実施。研修後は必ず研修報告書を提出させています。今年度より職員全員に対して順次法人の基礎研修を受講させていく予定です。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設への訪問、居宅介護支援事業所と常に情報交換を行っています。法人内の職員交流会を実施しています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族様ご本人様に入居前の生活状況をよく聞き、安心して生活できるように話合いの時間を多く設けています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	日々の対応、生活状況を報告し、新しい情報をいただきながらご家族様との関係を築いています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に見学に来ていただきご本人・ご家族様と十分に話し合い入居後は早く生活環境に慣れていただけるように座席の配置など他利用者ともよい関係が取れるよう配慮しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	料理を共に作り話しながら楽しく食事ができるようにしています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居してしまうとご家族との関係が薄れてしまいがちになるので日々の生活状況を連絡することと、行事などの声かけを行い共に過ごす時間を大切にできるように配慮しています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅への外出・外泊をすすめています。また、入居前の馴染みの美容院へ定期的に出かけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しない様、話題を提供し楽しいひと時を過ごせるよう配慮するとともにフロアーで作品作りなどを行い共有しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も他施設へ面会に行ったり、ご家族様と手紙でのやりとりをしています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の希望をできるだけ取り入れています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴をふまえてプランを作成しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送り、カンファレンス、ユニット会議などで状態を把握しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議等で日々の状況を報告し合い、ご家族の要望も踏まえたプランを作成しています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々カンファレンスを行い、情報を共有し実践しています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々のカンファレンスを行い問題を共有しケアをしています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事等は可能な限り参加しています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	歯科は毎週月曜日往診、内科は毎週金曜日往診。内科にあたっては昼夜問わず緊急対応が可能です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の看護師と24時間連絡体制が取れています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は可能な限り面会に行き、病院関係者と情報交換を行っています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご家族様と同意書を作成し、終末期のありかたについて共有しています。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時のマニュアルを作成しています。施設内にAEDを設置し職員全員が取扱いができるように勉強会を行う予定です。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昨年は訓練ができていません。防災頭巾を整備。水分・食料については3日分の備蓄があります。地域推進会議にて自治会長からのご意見により施設内に避難誘導案内板を設置しました。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に応じた声かけに心掛けています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何事においてもご本人の意思を尊重し希望はできるだけ聞いています。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	支援しています。	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に理美容師が訪問しています。馴染みの美容院にも出かけています。洋服などは自ら選び購入しています。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りから配膳、後かたづけも共にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分摂取量を記録し支援しています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアを誘導・実施した結果、利用者自ら習慣になってきています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>可能な限りトイレ誘導を行っています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食物繊維を多く含む食品を取り入れています。医師のアドバイスによる便秘改善体操を行っています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴時間は決まっているが入浴自体が楽しめるようにゆず湯、菖蒲湯など季節感のある入浴となるよう配慮しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	好きな時間、好きなようにしていただいています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者が服用している薬については職員各自が処方箋をメモしどのような薬かを把握・確認しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除、配膳、後かたづけの役割を決め、実施しています。現在は声かけしなくても習慣になってきています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別の対応はできていないが、数名の利用者の意見や希望を吸い上げ季節ごとの外出はしています。日常の散歩などは個別に応じています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	日用品や嗜好品の購入の際は自分でお金を支払うことにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら電話する事は難しいです。ご家族に電話を頂けるよう働きかけています。年賀状は毎年ご本人に書いていただいています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしています	季節感を取り入れ、作品制作を工夫し壁などに展示しています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアー内に椅子を多く配置した結果、思い思いに自由に腰かけ過ごす時間が多くなりました。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族と相談し、使い慣れた家具や着慣れた洋服などを持ち込んでいただき、不安のないような環境作りに努めています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室内はご家族と話し合い、家庭での物をそのまま使用して頂いています。建物内部においてはご本人が理解できるような表現や目印をつくり混乱がないように配慮しています。		

事業所名	グループホームゆらり相模原
ユニット名	1階

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>「一人ひとり」を大切に笑顔と真心で地域の一員となり笑顔で交流することを事業所独自の理念を共有しています。</p>	<p>理念として「一人ひとりの人生を大切に笑顔と真心で」「地域の一員となり、笑顔で交流を」を掲げ、誰もが目につくようにユニット入口に掲示しています。職員にはユニット会議などを通じ周知を図っています。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会に加入し自治会行事の連絡がある時は参加しているホームの行事の際はボランティアの人をお願いしたり、又外出（散歩）際は自宅の庭を休憩の為に提供してくれ良好な関係を保っています。</p>	<p>自治会に入会し行事の案内があれば積極的に参加しています。また、事業所の夏祭りなどの行事に地域の人々も参加してもらっています。地域の人々による津軽三味線や子ども姉妹によるフラダンスなどのボランティア活動も行われています。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>施設行事に参加して頂ける様声かけしています。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域推進運営会議と言う名称で3ヶ月1回開催、地域自治会長、民生委員、地域包括相談員、利用者とその家族の参加を得てホームの状況、活動報告を行い意見の交換を行っています。</p>	<p>3ヶ月に一回の割合で会議が行われ、会議には自治会長、民生委員、地域包括支援センターの職員などが参加しています。最近の会議では災害対策に関連し、自治会長から避難経路図の作成提案があり、さっそく作成し、玄関近くに掲示しています。</p>	
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>介護保険課、生活支援力と随時行き来し利用者の状況報告や相談を状況に応じて行っています。</p>	<p>市の担当部署とは随時行き来し、当事業所の実状やサービス提供の実態など理解してもらい、協力関係を築く努力は行われています。何かあれば直ぐに相談できる関係を作っています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠は一切していません。フロア毎に出入り口、玄関、チャイムを完備し自由に出入りできる様にしております。	身体拘束をしないケアの実践として玄関は夜間は施錠していますが、日中は玄関、居室、フロアなど一切施錠を行っていません。また、玄関などにはチャイムが設置され、利用者が外に出る場合に鳴るように工夫されています。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等に参加しています。資料をもとにユニット会議話合いの場を設けています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じ関係者と電話、封書等で連絡しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、契約書、重要事項、運営規定を全て読み上げ説明しています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入口付近に投書箱を設けています。1か月に1度中を確認していますが今までにご意見は頂いてはおりません。	運営推進会議、家族会、玄関近くに設置してある意見箱などを通じ、家族の意見や要望を聞く機会を設けています。また、重要事項説明書には外部、内部の苦情処理体制を明記しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月事業所の運営会議・ユニット会議を開催し、代表者・管理者が出席し職員からの意見を直接聞く機会を設けています。必要に応じて法人の運営会議に議案として吸い上げ検討しています。	管理者は毎月のユニット会議などを通じ職員の意見を聞き、必要に応じ法人の運営会議に報告する仕組みになっています。最近ではDVDレコーダーの購入や排水溝の修理などに関し、職員から意見が出され法人の運営会議で議論がなされています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	「働きやすい職場づくり」を今年度のテーマとして掲げ、慶弔金の整備や資格取得支援などの取り組みを行っています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	他施設への研修・交流会を実施。研修後は必ず研修報告書を提出させています。今年度より職員全員に対して順次法人の基礎研修を受講させていく予定です。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設への訪問、居宅介護支援事業所と常に情報交換を行っています。法人内の職員交流会を実施しています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族様ご本人様に入居前の生活状況をよく聞き、安心して生活できるように話合いの時間を多く設けています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	日々の対応、生活状況を報告し、新しい情報をいただきながらご家族様との関係を築いています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に見学に来ていただきご本人・ご家族様と十分に話し合い入居後は早く生活環境に慣れていただけるように座席の配置など他利用者ともよい関係が取れるよう配慮しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	料理を共に作り話しながら楽しく食事ができるようにしています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居してしまうとご家族との関係が薄れてしまいがちになるので日々の生活状況を連絡することと、行事などの声かけを行い共に過ごす時間を大切にできるように配慮しています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅への外出・外泊をすすめています。また、入居前の馴染みの美容院へ定期的に出かけています。	当事業所を利用してもらう前に、利用予定者の生活歴や趣味、利用者が、よく利用していたお店などを把握し、入居後も継続して利用できるように配慮しています。利用者の中には以前通っていた美容院に通っている人もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しない様、話題を提供し楽しいひと時を過ごせるよう配慮するとともにフロアーで作品作りなどを行い共有しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も他施設へ面会に行ったり、ご家族様と手紙でのやりとりをしています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の希望をできるだけ取り入れています。	日常的な会話や外出の時間などを使って、利用者の意向や希望を聞くようにしています。また、話し合いが困難な利用者には、その人の態度や素振りなどで思いや希望などを把握しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴をふまえてプランを作成しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送り、カンファレンス、ユニット会議などで状態を把握しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議等で日々の状況を報告し合い、ご家族の要望も踏まえたプランを作成しています。	日常的にカンファレンスを行い、それらをベースにして職員間で話し合いを行い、介護計画を作成しています。また、見直しは原則3ヶ月毎行っていますが、利用者の状況の変化があった場合には臨機応変に対応しています。	家族の意向や希望を踏まえ介護計画を作成する努力は行っていますが、現実には厳しいものがあります。諦めることなく家族の意向を踏まえた介護計画の作成が期待されます。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々カンファレンスを行い、情報を共有し実践しています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々のカンファレンスを行い問題を共有しケアをしています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事等は可能な限り参加しています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	歯科は毎週月曜日往診、内科は毎週金曜日往診。内科にあたっては昼夜問わず緊急対応が可能です。	入所以前のかかりつけ医を継続して通院している人もいます。利用者の情報は主として家族経由で収集しています。また、協力医に変更する場合には家族の同意を得ています。緊急時には24時間看護師と連絡が取れる体制が整っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の看護師と24時間連絡体制が取れています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は可能な限り面会に行き、病院関係者と情報交換を行っています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご家族様と同意書を作成し、終末期のありかたについて共有しています。</p>	<p>契約時に重度化や終末期の対応について話し合いが行われ、利用者や家族と方針を共有しています。24時間看護師と連絡が取れるようになっていて、医師、看護師、介護スタッフが連携し、対応するようになっていました。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時のマニュアルを作成していません。施設内にAEDを設置し職員全員が取扱いができるように勉強会を行う予定です。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昨年は訓練ができていません。防災頭巾を整備。水分・食料については3日分の備蓄があります。地域推進会議にて自治会長からのご意見により施設内に避難誘導案内板を設置しました。</p>	<p>昨年度は避難・消防訓練は行われていません。また、夜間を想定した避難訓練も行われていません。しかし、運営推進会議で自治会長から貴重なアドバイスを頂き施設内に避難誘導版を設置しました。消火器は6ヶ所に配置され表示板もあります。</p>	<p>消防署の指導に基づく消防訓練や地域の協力を得るためにも地域との防災協定書の締結などが期待されます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に応じた声かけに心掛けています。	利用者の誇りを傷つけないよう、その人に応じた言葉かけを心がけています。利用者間のトラブルには、職員が間に入り、話題を変えて対応しています。個人情報の記載された書類の保管には厳しく配慮しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何事においてもご本人の意思を尊重し希望はできるだけ聞いています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に理美容師が訪問しています。馴染みの美容院にも出かけています。洋服などは自ら選び購入しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りから配膳、後かたづけも共にしています。	献立を職員、利用者が協力して作っています。また、利用者の持っている力を活かして、食事づくり、配膳、後片付けを職員と一緒にしています。2ヶ月に1度はユニット毎に、近郊のファミリーレストランなどに外出に出かけます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を記録し支援しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを誘導・実施した結果、利用者自ら習慣になってきています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	可能な限りトイレ誘導を行っています。	排泄チェックリストでパターンを把握し、トイレに誘導しています。その結果、失禁が減少し、トイレで気分良く排泄出来るようになった人もいます。誘導する際は羞恥心に配慮し、他の人に聞かれないようにしています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く含む食品を取り入れています。医師のアドバイスによる便秘改善体操を行っています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間は決まっているが入浴自体が楽しめるようにゆず湯、菖蒲湯など季節感のある入浴となるよう配慮しています。	入浴は曜日ごと交代で、週に3回、午後に入ります。体調等により、日や時間は本人のペースに合わせて対応しています。入浴が楽しめるように温泉入浴剤をいれたり、ゆず湯、菖蒲湯等で季節感を出しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	好きな時間、好きなようにしていただいています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者が服用している薬については職員各自が処方箋をメモしどのような薬かを把握・確認しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除、配膳、後かたづけの役割を決め、実施しています。現在は声かけしなくても習慣になってきています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別の対応はできていないが、数名の利用者の意見や希望を吸い上げ季節ごとの外出はしています。日常の散歩などは個別に応じています。	毎日午後、1時間程度近くを散歩します。近所の人も散歩してますので、顔なじみになり、会話を楽しんだり、果物をもったりしています。買い物も1日置きにしています。月に1度ぐらい、車で相模湖など遠出の外出を行っています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	日用品や嗜好品の購入の際は自分でお金を支払うことにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら電話する事は難しいです。ご家族に電話を頂けるよう働きかけています。年賀状は毎年ご本人に書いていただいています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしています	季節感を取り入れ、作品制作を工夫し壁などに展示しています。	リビングには季節感を取り入れ、皆で作ったお雛様の色紙などを展示しています。インフルエンザ予防の除菌・消臭水噴霧器が置かれ、衛生管理がされています。大きめなウッドデッキがあり、日光浴など気分転換などができます。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアー内に椅子を多く配置した結果、思い思いに自由に腰かけ過ごす時間が多くなりました。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族と相談し、使い慣れた家具や着慣れた洋服などを持ち込んでいただき、不安のないような環境作りに努めています。	各部屋、使い慣れた家具が置かれ、家族の写真が飾られ、中には神棚や仏壇の置かれた部屋もあります。また、各部屋、職員と一緒に作ったカレンダーが飾られています。シーツ交換や布団干しは職員も手伝いながら一緒に行っています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室内はご家族と話し合い、家庭での物をそのまま使用して頂いています。建物内部においてはご本人が理解できるような表現や目印をつくり混乱がないように配慮しています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者の状態を職員全員が共通認識する。	利用者の問題点を全職員が理解し、チームケアができるようにする。	月1回、全職員がモニタリングを行いケアプランにつなげていく。	9ヶ月
2		入居者様の健康問題、リスクが高い。	高齢化が進み多疾患を有した方々が多くなり除々に悪化傾向にある。	1・観察を密にする。 2・早期発見に務める。 3・異常時速やかに対応し受診する。	6ヶ月
3		スタッフに関して	介護職としての充実感、満足感	仕事に対し満足感が保たれるよう個人面談を実施し意見を聞く。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。